

記入例

四輪排ガス試験用諸元表

*は数字又は文字

水色の部分をご記入をお願いします。
 緑色部分は必要となる場合があります。
 黄色部分は試験開始後の訂正ができませんのでお間違いのないようにご記入下さい

(一財)日本車両検査協会
 {受付時間} 午前9:00~12:00 午後13:00~17:00
 {休業日} 土曜日・日曜日・祝日・年末年始
 {お問い合わせ}
 東京検査所 TEL 03-3912-2361
 FAX 03-3912-2208
 大阪検査所 TEL 072-233-2001
 FAX 072-233-2002

(V1-3様式)

排出ガス	No.
加速騒音	No.

自動車排出ガス及び騒音等試験用諸元表

VIA 2023.3

試験依頼者名	*****社 個人名	輸入者名	通関証明書名称
諸元表氏名	*****	電話	連絡の取れる番号をご記入下さい。
作成者住所	〒 *****都道府県***区市	担当者	*****

※ 以下の項目は試験実施の際に使用する数値も含まれ、試験実施後の訂正はできない場合があります。十分確認のうえご記入下さい。

1. 試験自動車諸元表		試験自動車製作者名称	****自動車	用途	形状
車名	型式	車台番号(シリアル番号)		乗用・貨物・乗合 特種(貨・乗)	箱型等 車両カテゴリ
****	(), ****	*****			M1
車両重量(*1)	**** 例 1010	kg	使用燃料	無鉛ガソリン LNG	プレミアム軽油 LPG CNG 水素 その他()
WLTC用記入欄 (指定自動車 / ★非認証貨物等必須)			過給機の有無	○ 有 (1 個)	無
★技術的最大許容質量		kg	給気冷却機の有無	○ 有 (1 個)	無
非積載重量(*2)		kg	変速機	手動 足動 (自動) 前進 例 6 段	
最大オプション重量		kg	変速機タイプ	機械式 油圧式 電気式 その他	
乗車定員及び最大積載量	* 人 ****	kg	変速機のギア比	1速 例 5.555	7速
原動機型式又は番号	(), ****		2速 例 4.444	8速	
原動機作動方式	2サイクル 4サイクル ローター		3速 例 3.333	9速	
気筒数及び総排気量	** 気筒 ****	L	4速 例 2.222	10速	
原動機最高出力	*** / ****	PS,kW,HP/rpm,min ⁻¹	5速 例 1.111	11速	
原動機最大トルク	*** / ****	LB·FT,N·m/rpm,min ⁻¹	6速 *.*.*	12速	
モーター最高出力	*** / ****	PS,kW,HP / rpm,min ⁻¹	最終減速比	例 6.666	
モーター最大トルク	*** / ****	LB·FT,N·m/rpm,min ⁻¹	駆動輪	前輪 ・ 後輪 ・ ○ 全輪	
燃焼室型式(圧縮比)	直噴式 ・ 副室式 ()		タイヤサイズ	前輪 例 265/30R18 後輪 例 265/30R18	
シリンダー 径 × 行程	× mm		駆動輪タイヤ有効半径	WHTC、JE05、騒音時記入 *.*.* m	
個数	噴射式 ・ キャブレター式 (個)		タイヤ空気圧	標準 前輪 260kPa 実測 F 後輪 260kPa 記入不要 R	
点火・噴射時期	** ° ± ** ° / *** B,ATDC/rpm,min ⁻¹		特例措置	有 ・ 無	
無負荷回転数	(N)(D)(P) *** (±) ~ *** rpm,min ⁻¹		Rポイント(*4)	*** mm	
試験自動車寸法	長さ *.*.* m 幅 *.*.* m 高さ *.*.* m ホールベース *.*.* m		変速比の固定	(可) ・ 不可	
型式欄(原動機型式)	日本型式 メーカー型式 記入例		過回転防止装置	(有) ・ 無	
記入例	不明 有 ()メーカー型式				
記載不要	不明 不明 ()				

非認証車等で型式が無い場合は()とご記入ください。

試験開始後は車両重量乗車定員最大積載量の訂正はできません。*マークを必ずお読みください。

非認証車等で型式がない場合は()とご記入ください。

該当する単位に○を記入ください。

該当する単位に○を記入ください。点火・噴射時期の具体的な数値が不明な場合はガソリンは電気

該当箇所に○を記入ください。形状の項目には形

CVT車は自動に○を付けて(無段)とご記入

複数ある場合は全てご記入ください

実際に装着されているタ

車両ステッカーに記載がある場合があります。(運転席開

車両ステッカーに記載がある場合があります。

- *1 車両重量は、空車状態の自動車に燃料満量、油脂、冷却水を適正量とし、スペアタイヤ、工具類は取り除いて計量を行って下さい。(WLTCモードの非積載重量とは異なります。)
- *2 WLTC用(非積載重量は、乗員が乗車せず、かつ、燃料満量(90%)、冷却水、潤滑油、工具、連結装置及びスペアタイヤが搭載された重量)
- *3 ギヤ比が固定されず連続して変化する場合(CVT等)は、1速の欄に○.○○○~△.△△△とご記入下さい。
- *4 協定規則第51号試験におけるRポイントとは、車両構造統合決議(R.E.3)附則1の2.4項に定義されたRポイントとなります。

2. 一酸化炭素等発散防止装置等

種類	三元触媒 (* 個)	酸化触媒 (個)	三元酸化触媒 (個)	SCR触媒 (個)	NOx吸蔵還元触媒 (個)	DPF (個)	エアポンプ (個)	リッドバルブ (個)
製作者	メーカー純正							
種類	EGR (* 個)	O2センサー (* 個)	NOxセンサー (個)	PMセンサー (個)			消音器(騒音試験時記入) (個)	
製作者	メーカー純正	メーカー純正						消音器の有無 (有 ・ 無)

- 注意 : ① 一酸化炭素等発散防止対策が、試験自動車の自動車メーカーにおいて実施(装着)されている場合は、製作者欄に「メーカー純正」とご記入いただき、後付及び異なるものへ交換を行なっている場合は、製作者の名称をご記入下さい。
 ② 改造車で試験を行う場合には改造後の諸元をご記入下さい。なお、車両重量、自動車の幅、高さについては試験後訂正が行えません。その他の諸元についても資料等による説明がない場合、原則訂正が出来ませんのでご注意ください。
 ③ 消音器欄は触媒が内蔵されている場合は有、内蔵されていない場合は無に「○」をして下さい。

3. 改造内容(試験自動車は改造車の場合ご記入下さい。なお、記入欄が足りない場合には別紙による説明をお願いいたします。)

改造部位	箇所	燃料供給系、吸気系、排気系、原動機系、変速機系、その他 ()		
	内容			
消音器等	品名	製作者	製品番号	

4. 車台番号(シリアル番号)の拓本貼付欄(車台番号(シリアル番号)打刻様式の説明を併記)

お願い: 車両によって打刻位置の発見が困難なものがあります。打刻位置を記入下さいませ、ご協力お願い致します。打刻の位置(例:トランクルームスペアタイヤ下)

(注)当該打刻されている番号(記号、符号を含む)全てご記入下さい。(O(オー)と0(ゼロ)等ご注意ください。)

VIA記入欄